

# 令和元年度 米盛病院 病院指標

医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）

1. 年齢階級別退院患者数
2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数
4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
5. 脳梗塞の患者数等
6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

## 年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	60	158	146	176	276	501	917	1245	1317	465

診療科の拡充により、幅広い年齢層の患者を受け入れています。

地域の医療機関、介護・福祉施設等とのさらなる連携を深めながら、当院での治療後もよりよい療養環境を提供できるよう取り組んでいます。

## 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

### ■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	436	39.60	25.94	64.22	82.92	
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。）人工関節再置換術等	257	42.04	23.56	2.33	74.27	
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）人工関節再置換術等	196	35.98	21.53	2.04	68.74	
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）手術なし 副傷病なし	135	54.09	19.40	18.52	81.50	
160760xx97xxxx	前腕の骨折 手術あり	133	8.61	5.54	6.02	54.62	

医師は、外傷、脊椎、関節など専門分野ごとにチームを組み、専門性の高い診療と充実したリハビリテーションを提供しています。関節領域の疾患においては、急性期病棟での治療終了後、回復期病棟へ転棟し、継続した医療を提供しているため、平均在院日数は長めになっています。

■ 救急科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）手術なし副傷病なし	78	54.79	19.40	17.95	81.47	
160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等 2 なし	37	36.78	19.59	43.24	78.11	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	36	26.08	20.84	36.11	82.81	
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	32	10.59	9.67	12.50	68.81	
110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	29	18.45	12.58	24.14	80.72	

救急科では、外科系（整形外科、消化器外科、脳神経外科、心臓血管外科など）や、内科系（循環器内科）の領域で軽症、重症問わず多種多様な症例を 24 時間、365 日体制で受け入れています。また、24 時間救急相談ダイヤルをはじめ、Dr. への補完事業を請け負っていること、自前の民間医療ヘリで患者搬送も行っており、県内外からの患者受入も行っています。

■ 脳神経外科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	31	20.65	7.34	16.13	62.94	
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	26	29.35	9.67	11.54	73.62	
010060x2990201	脳梗塞（脳卒中発症 3 日目以内、かつ、JCS10 未満）手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 2 あり 副傷病なし 発症前 Rankin Scale 0、1 又は 2	10	26.30	16.16	60.00	76.10	
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	10	7.70	7.10	0.00	60.40	
010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症 3 日目以内、かつ、JCS10 未満）手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4 あり 副傷病なし 発症前 Rankin Scale 0、1 又は 2	-	-	16.13	-	-	

頭痛、めまい、けいれん発作などの日常的な症状から、頭部外傷、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）などの緊急を要する疾患まで対応可能な体制を整え、安全・安心な医療を提供できるように努めています。

■ 循環器内科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等 2 なし	156	6.81	5.02	1.28	63.76	
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1, 2 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	67	4.45	4.40	0.00	68.27	
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	58	2.91	3.01	0.00	68.66	
050030xx97000x	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	27	16.41	12.37	3.70	63.81	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	24	20.75	17.71	16.67	81.33	

虚血性心疾患、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全といった主に血管内で発生する疾患や病態を対象に検査・治療を行っています。医師は、虚血部門、不整脈部門にわかれ、それぞれが専門性の高い治療・検査を行っています。

■ 心臓血管外科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	15	3.20	2.78	0.00	66.73	
050161xx97x10x	解離性大動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等 2 1 あり 副傷病なし	-	-	27.88	-	-	
050080xx01010x	弁膜症（連合弁膜症を含む。）口ス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1 あり 副傷病なし	-	-	23.77	-	-	
050163xx02x10x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。）腹部大動脈（分枝血管の再建を伴うもの）等 手術・処置等 2 1 あり 副傷病なし	-	-	19.82	-	-	
050161xx9900xx	解離性大動脈瘤 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	-	-	17.53	-	-	

虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）、心臓弁膜症、大動脈解離や大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤など心臓血管関連の疾患に対応しています。循環器内科とも連携し、チーム医療で患者様のニーズにあうよう治療に取り組んでいます。

■ 形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パ ス
160200xx0200xx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）鼻骨骨折整復固定術等手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	5.26	-	-	
070570xx012xxx	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術手術・処置等1 2あり	-	-	10.78	-	-	
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）等 手術・処置等1なし	-	-	4.01	-	-	
160640xx01xxxx	外傷性切断 切断四肢再接合術	-	-	19.92	-	-	
070010xx010x0x	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	-	-	5.41	-	-	

令和元年5月に開設いたしました。顔面外傷、四肢外傷、手指切断、熱傷といった超急性期治療はもちろん、ほくろや傷跡、眼瞼下垂などといった症例にも対応しています。

■ リハビリテーション科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パ ス
010040x097x0xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満）その他の手術あり 手術・処置等2なし	-	-	28.87	-	-	
010040x197x0xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10以上）その他の手術あり 手術・処置等2なし	-	-	41.58	-	-	
010069xx97x01x	脳卒中の続発症 手術あり 手術・処置等2なし 副傷病あり	-	-	26.27	-	-	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	20.84	-	-	
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	7.13	-	-	

■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パ ス
030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 手術・ 処置等 1あり	-	-	2.03	-	-	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・ 処置等 2なし 副傷病なし	-	-	20.84	-	-	
100391xxxxxxxx	低カリウム血症	-	-	12.7	-	-	
0400801399x003	肺炎等（市中肺炎かつ 65歳 以上 75歳未満）手術なし 手 術・処置等 2なし 副傷病なし A-DROP スコア 3	-	-	15.14	-	-	
0400801499x003	肺炎等（市中肺炎かつ 75歳 以上）手術なし 手術・処置等 2なし 副傷病なし A-DROP スコア 3	-	-	17.01	-	-	

■ 外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パ ス
060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等 2なし	-	-	5.39	-	-	
160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処 置等 2なし	-	-	19.59	-	-	

## 初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	-	-	8
大腸癌	-	-	-	-	-	-	-	8
乳癌	-	-	-	-	-	-	-	
肺癌	-	-	-	-	-	-	-	
肝癌	-	-	-	-	-	-	-	

※ 1: UICC TNM 分類, 2: 癌取り扱い規約

## 成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	38	20.79	83.05
重症	14	30.29	87.07
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

ADROP スコアを用いて、成人の市中肺炎の重症度別に分類しています。市中肺炎とは、病院外で日常生活をしていた人に発症する肺炎のことです。当院では、高齢で中等度から重症の患者さんが多く入院されています。

## 脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	95	53.95	77.24	43.12
その他	14	55.14	74.21	4.59

高齢の方が多く入院されています。

当院での治療が終了した患者さんの4割程度が、他院へ転院し、主に在宅復帰や社会復帰にむけて治療を継続されています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（肩，股，膝）	507	4.76	34.47	2.76	71.91	
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨，上腕，大腿）	358	3.32	39.01	54.75	78.62	
K0811	人工骨頭挿入術（肩，股）	167	3.19	33.84	71.26	83.34	
K0462	骨折観血的手術（前腕，下腿，手舟状骨）	161	2.52	13.16	25.47	56.66	
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）	124	4.27	30.02	10.48	68.47	

手術件数は年々増加しており、医師は外傷、脊椎、関節など局所ごとにチームを組み、専門性の高い診療を提供しています。人工関節置換術では、人工関節の設置精度の向上や患者様の疼痛軽減のため、ロボティックアーム手術支援システム『Mako（メイコー）』を導入しています。

■ 救急科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	26	7.23	24.69	69.23	79.58	
K6151	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	16	1.31	33.13	31.25	66.25	
K1422	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）	15	9.60	47.80	46.67	63.07	
K654	内視鏡的消化管止血術	13	4.54	17.15	30.77	81.31	
K386	気管切開術	12	11.17	63.33	41.67	79.42	

救急室がそのまま手術室やCT室、血管造影室になるハイブリットERを備えており、専門性をいかした外科系や内科系の領域で多種多様な症例に対応しています。

■ 脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	13	25.08	55.31	15.38	77.15	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）	13	0.92	123.92	69.23	72.62	
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	-	-	-	-	-	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K164-4	定位的脳内血腫除去術	-	-	-	-	-	

脳出血やくも膜下出血に対する手術をはじめ、頭部外傷に対する手術も行っています。

■ 循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術(心房中隔穿刺、心外膜アプローチ)	120	1.75	4.87	1.67	65.54	
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	59	2.22	3.05	1.69	69.34	
K5952	経皮的カテーテル心筋焼灼術(その他)	38	2.18	3.32	2.63	59.76	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞)	33	0.82	19.97	9.09	64.67	
K5973	ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカーの場合)	17	4.53	5.41	5.88	81.82	

狭心症や心筋梗塞に対してのカテーテル治療や、心房細動や心房粗動に対してのカテーテルアブレーション治療、心室頻拍や徐脈性不整脈等に対してのデバイス療法などを行っています。

■ 心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	13	1.00	1.23	0.00	67.00	
K5601	大動脈瘤切除術(上行大動脈)(その他のもの)	-	-	-	-	-	
K560-22	オープン型ステントグラフト内挿術(上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術)(その他のもの)	-	-	-	-	-	
K0841	四肢切断術(上腕, 前腕, 手, 大腿, 下腿, 足)	-	-	-	-	-	
K5541	弁形成術(1弁)	-	-	-	-	-	

末梢血管手術をはじめ、胸部・腹部の大動脈瘤や心臓弁膜症に対しての手術も行っています。

■ 形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K333	鼻骨骨折整復固定術	-	-	-	-	-	
K0152	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術(25~100cm未満)	-	-	-	-	-	
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(肩, 上腕, 前腕, 大腿, 下腿, 躯幹)	-	-	-	-	-	
K0882	切断四肢再接合術(指)	-	-	-	-	-	
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径6cm以上12cm未満)	-	-	-	-	-	

顔面外傷、四肢外傷、手指切断、傷に対しての手術を行っております。



■ 内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	-	-	-	-	-	
K0811	人工骨頭挿入術（肩，股）	-	-	-	-	-	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	

■ リハビリテーション科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	-	-	-	-	-	

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180010	敗血症	同一	5	0.10
		異なる	3	0.06
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180040	手術・処置等の合併症	同一	65	1.24
		異なる	3	0.06

主な傷病名の内訳は、術後感染や人工関節脱臼となっています。

人工関節脱臼の主な原因は、転倒や不良姿勢によるものです。

これまでの症例を振り返り、原因の対策案を病院全体で検討し、少しでも発生率が減少するよう努めて参ります。